

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和7年度第2回岩倉市行政評価委員会
開催日時	令和7年7月17日（木）午前9時から午前11時30分まで
開催場所	市役所7階 第2・3委員会室
出席者 （欠席委員・説明者）	出席委員：千頭委員（委員長）、小松委員（副委員長）、堀井委員、大橋委員、山中委員、村上委員、三輪委員、長坂委員、服部委員 欠席委員：吉田委員 担当課：佐藤税務課長、丹羽収納グループ長、岡商工農政課長、夫馬商工観光グループ長、井手上企画財政課長、小出財政グループ長、宇佐見企画政策グループ長 事務局：中村総務部長、西山総務部専門監、井手上企画財政課長、小出財政グループ長、宇佐見企画政策グループ長、綾田主事
会議の議題	（1）岩倉市行政評価委員会の進め方について （2）岩倉市行政改革行動計画の進捗の評価について （3）その他
議事録の作成方法	☒ 要点筆記 ☐ 全文記録 ☐ その他
記載内容の確認方法	☒ 会議の委員長の確認を得ている ☐ 出席した委員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
会議に提出された資料の名称	資料1：令和6年度岩倉市行政改革行動計画実績評価シート一覧① 資料2：令和6年度岩倉市行政改革行動計画実績評価シート参考資料一覧① 資料3：評価基準表 資料4：令和5年度行政改革行動計画実績評価シート評価コメント一覧
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

2 あいさつ

委員長よりあいさつ

3 委員自己紹介

4 議事

（1）岩倉市行政改革行動計画の進捗の評価について

企画財政課長より評価シートの見方や評価方法についての説明した後、【資料1、資料2】を基に各担当課より説明。以下、質疑応答について記載。

No.7 市税等の収納率の向上 税務課

担当課：参考資料の市民税の令和6年度収納率の計95.90%を95.83%に修正をお願いしたい。

委員：未納者への督促について、どのように対応しているのか。

担当課：電話での催促は毎月実施するとともに、未納が発生した段階で実施をしている。

委員：滞納が常態化しているケースが多いのではないかと。訪問は行っているのか。

担当課：個別訪問は、適宜実施し、催告や督促を放置している人に対しては、財産調査後に差し押さえ等を行っている。

委員長：長期滞納者はいるのか。

担当課：存在する。なお、財産調査をしても財産がない場合は、やむを得ず不納欠損とする。

委員：岩倉市の収納率が県下平均の98.5%を下回っている要因は何か。

例えば、外国人が多いことが関係しているのか。そうであれば、岩倉市と同様に外国人が多い自治体において、収納率が県平均以上の自治体はあるのか。

委員長：質問の補足として、外国人の収納率が低いという実態はあるのか。

担当課：外国人の世帯は収納率が低い傾向である。本市の収納率は県内32位であり、本市と似た状況の近隣自治体は29位となっている。

委員：国民健康保険についてはペイジーを推奨し、口座振替を進めたところがあるが、口座振替の数が減ったと思われるがなぜか。

担当課：国民健康保険の被保険者数の減少によるものであり、後期高齢者に移行している。

事務局：新規登録者の比較で減ったと表記しており、口座振替率は増えている。

委員長：単に「減りました」の記載をすると誤解を招くため、簡潔に上記の理由を記載してもらいたい。引き続き、滞納者数を減らす取組を行ってもらい、長期的に収納率を上げてもらいたい。

委員長：評価を行う。挙手の結果、C5人、D4人、全体はC評価とする。

No.9 ふるさといわくら応援寄附金による財源確保 商工農政課

委員：ふるさと納税の件数ベースでの推移はどうなっているか。

担当課：岩倉市として、約1,000件減っている。

委員：全国的に減っているのか。

担当課：全国的には増えている。返礼品に魅力がある自治体にふるさと納税が流れているため、偏りが起きている。

委員：岩倉市として人気の品はなにか。

担当課：イタリアンのピザや名古屋コーチンが人気である。

委員：ふるさと納税は年末に寄附が多くなる傾向があるが、通年で寄附を受けられるよう工夫することはできるのか。

担当課：返礼品を増やすことで、通年で寄附を受けやすくなることに対する期待はできるが、難しい状況ではある。本市はおせちも人気であり、年末に寄附額が多くなる傾向がある。また、今年度については、ふるさと納税受付サイトが独自で行っているポイント還元制度が国の規制により10月からはなくなるため、かけ込みで9月の寄附金額が伸びると予想される。

委員：返礼品の数が増えたことにより、1商品当たりの単価が2/3になっているのではないのか。このように分散化されているように思われるが、お礼の品の内容はどのように決められているのか。また、どのように寄附金額を設定しているのか。

担当課：基本的には、事業者からの返礼品はいつでも受け付けており、条件を満たしていれば登録している。しかし、それだけでは増えないので、市は、セミナーなどを実施しながら事業所にアプローチして、提供できる金額を調整し、寄附金額を決定している。

委員：寄附金額が令和5年度から令和6年度にかけて落ちているが、理由はなにか。

担当課：国の基準の厳格化によるもの。製造場所が違ふことなど基準に合わなくなった返礼品を対象から外すなどの対応が必要となった。具体的には、人気のあった自転車スタンドやあかちゃんのおしりふきなどである。

委員長：企業版ふるさと納税について、マッチング支援をすると記載があるが、岩倉市として、ゆかりのある企業のオーナーにアプローチをするなどの取組を実施しているのか。

担当課：様々な機会で紹介しているが、効果が出ていない状況である。

委員：受付サイトを導入することで経費はかかるのか。

担当課：寄附があった場合に手数料を支払う契約になっており、寄附がなければランニング費用はかからない。なお、サイトによっての手数料の違いがある。

委員：国から制度変更の通知はあるのか。

担当課：地場産品という定義について、定期的に見直され、市にも示される。

委員長：評価を行う。挙手の結果、C1人、D7人、E1人。少数の方の意見はあるか。

委員：Eの理由として、令和7年度も8年度も減る傾向にあるのではないかと、市民税控除額が大きいと、E評価とした。

委員：Cの理由として、国の制度が大きく変わったことがマイナスの要因であるため、外的要因ととらえC評価とした。

委員長：全体の評価はD評価とする。

No.1 多様な視点からの民間活力の導入 企画財政課

委員：役務提供型ネーミングライツは、他の自治体では事例はあるのか。

担当課：例えば、公園のトイレ清掃を清掃事業者が行い、その対価として、その公園の愛称として企業名などを付けている事例がある。

委員長：ボランティアで清掃などしてくれる愛護会などもこれに該当するのか。

担当課：本市の場合、アダプトプログラムなどの地域の人の活動が該当するが、義務などはない。対価として愛称を名乗ることで責任が生まれるとともに、愛着の醸成を図りたい。

委員：民間への委託先についてはどこがあるか。

担当課：市民プラザについては、NPO法人に委託している。指定管理者制度では、みどりの家など複数の施設でコニックス株式会社などの民間事業者に委託している。

委員：南部老人憩いの家についてはどこに委託しているか。

担当課：老人クラブ連合会に委託をしている。委託先については、施設利用の団体に近いところをお願いするケースもあり、施設によって委託先は異なる。

委員：放課後児童クラブについては、令和7年度において具体的に検討していくとあるが、どのように進めているのか。

担当課：民間活力活用推進委員会において、課題等の整理をしているところである。

放課後児童クラブの利用人数は増えているため、時間を延長するなど様々な検討は必要である。

委員：学校と直接関わることになるのか。

担当課：すべての放課後児童クラブは小学校の敷地内にあるため、関わりはでてくる。

委員：小学校の先生に何か担ってもらうのか。

担当課：放課後児童クラブの利用者が増えた際に、校舎内の教室を使用させてもらう場合は、学校側と調整が必要となるが、先生の負担が増えることは想定していない。

担当課：放課後児童クラブの利用数は増えている。時間を延ばすなど色々な検討は必要となっている。

委員長：指定管理者制度を導入している施設の評価は、担当課が実施しているのか。

担当：担当課に加え、第三者の評価として行政課が事務局となり部長級でモニタリング評価も実施しており、改善や次の指定管理者の選定に活用している。

委員：市民の意見を踏まえているのか。

担当課：各施設で利用者アンケートを実施しており、その意見を踏まえて評価している。

委員長：挙手の結果、C9人、全体はC評価とする。

No.5 事務の共同化・多様な連携の推進 企画財政課

副委員長：電力の共同調達について、各地で行われているが、愛知県内でどうなのか。進んでいる方なのか。

担当課：2市3町では平成25年度から実施している。調達の相手方はその都度変わっている。今回も部会の中で検討して実施している。コスト的にも本市においてプラスとなるよ

うに引き続き努めていく。県内では、豊明市、日進市、三好市、東郷町が共同で実施している。また、再生エネルギーの調達では東京都内で実施している。

委員：知多の方では実施していない。海部でも実施していないのではないかな。

委員：共同で行うことでコストが削減でき、良いことが多いと思われるが、デメリットがある場合どうするか。

担当課：市調達側で様々な選択が可能であり、コストが上がるようであれば、選択をしないなど岩倉市のメリットとなるように取捨選択していく。

委員：水道管や下水道管について、陥没事故等により様々な対応が求められてると思うが、自治体間での奪い合いにより事業者が不足して、更新が進まないということはあるのか。

担当課：人件費や物価高騰による工事費の増など予定どおりに実施できていない状況もあり、コスト面に課題がある。また、建設業界の人材不足も影響はある。

委員長：挙手の結果、C 6 人、D 3 人、全体はC評価とする。

No. 6 公共施設の適切な配置 企画財政課

副委員長：岩倉市における適正配置の始まりともいえる岩倉北小学校の屋内運動場等複合施設の利用状況はどうか。

担当課：放課後児童クラブは定員も増えている。また、クラブ施設と屋内運動場の間には、クラブと学校が共に使用できる多目的スペースもあり、市民参加のワークショップなどでも使用されている。

委員：希望の家の民間譲渡ができなかった理由はなにか。

担当課：建物が老朽化しているといった意見はなく、広すぎて社会福祉施設としては活用しきれないといった意見が挙げられた。

委員：希望の家の跡地利用については、社会福祉施設として、譲渡で民間公募を継続していくのか。また、別の用途で再募集するのか。さらに、譲渡は有償だったのか。

担当課：無償譲渡で公募をした。また、社会福祉施設として、再度公募はしないこととした。跡地利用については、決まりしだい報告する。

委員：希望の家は子ども会等が利用していたが、宿泊施設やキャンプファイヤーの場所として利用できる代替の施設はあるのか。

担当課：民間への譲渡を検討する際に、宿泊施設等の代替についても検討したが、需要の観点から市内に代替施設は設けないことにした。

委員：子ども会等から代替場所の意見はなかったのか。

担当課：意見はあったが、費用対効果等も含め総合的に判断した。

委員：児童館適正配置方針では、中高生が楽しめるようにマンガやボードゲーム等を充実させるとあるが、いつから実施するなど決まっているのか。

担当課：方針を決定した段階であり、具体的には決まっていないが、大規模改修等のタイミングにあわせるなど、今後実施時期を検討していく。

委員長：挙手の結果、C 5 人、D 4 人、全体はC評価とする。意見はあるか。

委員：C評価の理由として、民間の譲渡は実現には至らなかったが、次のステップに進んでいることは評価しているためC評価とした。

No. 8 使用料、手数料等の適正化 企画財政課

委員長：参考資料の 11 ページの第 4 分類に記載されている施設は、現状として 100%受益者負担となっているわけではないのか。方針として記載しているのか。

担当課：現状として 100%受益者負担となっているわけではなく、方針として記載しているものである。

委員長：市民の方にどのようにコストを示していくのか。

担当課：コスト計算の内容までは示す必要はないと考えているが、問い合わせがあった際には、丁寧に細かく説明していく。

委員：総合体育文化センターのネーミングライツ料は収入になっているが、コスト計算に反映されているのか。

担当課：維持管理費を踏まえたコスト計算をしているため、反映してていない。

委員：野寄のテニスコートの費用対効果はどうなのか。将来的にも今の状況で使用していくのか。

担当課：費用対効果を試算したことはないが、テニスコートの利用は多い状況が続いており、移転等の検討はしていない。

委員：スマートインターチェンジの整備を踏まえて、岩倉市は将来的にどのような発展を描いているのか。

担当課：スマートインターチェンジを整備することが目的ではなく、スマートインターチェンジを活用した街づくりをしていくことが重要であると認識している。今年度は、都市計画マスタープランの見直しも行っており、スマートインターチェンジを活用した新しい区域設定も検討している。

委員：スマートインターチェンジの整備には時間を要するのか。

担当課：用地の取得なども必要となるため、供用開始には暫く時間は要すると思われる。

委員：今まで使用料を設定する際は、コスト計算をしていなかったのか。

担当課：コスト計算は行わず、市内や近隣自治体の類似施設などの使用料を参考に、料金を設定していた。

委員長：挙手の結果、B 7 人、C 2 人、全体はB評価とする。意見はあるか。

委員：料金を設定する仕組みができたことに対しては評価するが、次の展開を見据えてC評価とした。

No. 10 多様な財源確保 企画財政課

委員：評価シートに給与明細の有料広告との記載があるが、給与明細のペーパーレス化の検討状況はどうなのか。

担当課：既にペーパーレス化しており、電子化した給与明細に有料広告を掲載している。

委員：石仏公園にネーミングライツを導入するとの記載があるが、市内の各公園にも導入してはどうか。

また、各公園がネーミングライツ制度にそぐわない理由があるのか。

担当課：例えば、生涯学習センターのような駅前の立地にもかかわらず募集がない状況であった。役務提供型であれば、公園等は適していると思われるため、役務提供型の検討をしていく。

委員：新型コロナウイルス用のワクチン保冷庫について、処分は可能であったのか。

担当課：国の通知を踏まえて対応した。当初は、処分する方向で処分費を予算化することも検討したが、売却することができて満足している。

委員長：挙手の結果、B 9 人、全体はB評価とする。

No. 11 財政健全化への取組 企画財政課

委員長：評価理由の類似団体の比較での中上位というのは数値が低いという意味であり、良いという意味なのか。

担当課：そのとおり。

副委員長：類似団体は、人口規模で決まっているのか。

担当課：人口規模及び産業構造によって決まる。

委員長：中長期財政計画を公表しているところは少ないため、実績評価シートにその旨記載してはどうか。

担当課：記載する。

委員長：挙手の結果、B 9 人、全体はB評価とする。

No. 12 財政状況の公表 企画財政課

委員：外国語でも公表をしているのか。

担当課：外国語では公表はしていない。

委員長：多言語に対応するようにしてはどうか。

担当課：検討する。

委員：わかりやすい決算書はどの年代をターゲットにして作成しているのか。また、年代や性別などのアクセス数は分析できるのか。

担当課：年代や性別のアクセス数については、把握はしていない。また、ターゲットとしたわけではないが、小学6年生でもわかるように意識して作成している。わかりやすい決算書は、市役所内部のキャリアアップ研修でも編集して使用しており、一定評価をいただいている。

委員長：中学校への出前講座があるとよいように思われる。

委員長：Google で多言語翻訳ができると思うため、一度確認してはどうか。

委員長：挙手の結果、A 7 人、B 2 人、全体はA評価とする。

委員　：B評価の理由として、税を納める人すべてに理解してもらう必要があると感じたため。

委員　：まだ課題があると思われるため、期待や伸びしろを踏まえてB評価とした。

(3) その他

次回会議日程　8月7日（木）午前9時から 大会議室